

刊夕日六廿月十



定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
日曜 祭日の日休刊  
行所 常盤橋毎日新聞社  
電話 六二〇〇  
印刷所 常盤橋毎日新聞社

### 宗教記事再興の言葉

眞 繼 雲 山

私が本紙上に、不束ながら宗教記事を執筆させていただきましてから早くも年餘を経過いたしました。

本春、私の書きたいと思ふてゐたことが一段落となつたのを機会にホンの数日間休ませてもらふつもりで一服しましたのが、若生の夢は五十年とやら、私の一服も半才以上となりまして

この休憩中、本紙の愛讀者各位から、数ならぬ私の記に對し、しばしば、續稿の御催促を受けましたことは身に餘る光榮として感謝してゐましたと同時にその御叱りを決して空吹く風と聞き流してゐたわけではなく實は身を切らるるやうな思ひで、今日は、あすはと一日延しに延ばして來たのであります。

それには、別段、事情も理由もありません。只忙しさに追はれてゐたといふだけの話です。それで今日から特にヒマになつたといふわけではありませんが、このまゝ御無沙汰してしまふことは私の宗教的良心が許さずそれで多忙の中を押切つて又宗教記事の稿を本紙上に續けさせていたゞくこ

とに致しました。

然しもう何百回といふものを書つてきてまゐりなしたことで、同じやうな問題同じやうな筆調をくり返すことをやめたい。さうして皆様からの御質問を中心として信仰上の身の相談の形で、腹藏なく信仰問題を本紙上で、皆様と話し合ひたいと存じます。

御相談の題材が皆様の御胸に無いほどに皆様が精神的にカラリと晴れてゐて下さるとすれば、それに越した話はなく、さうすれば筆先を他に轉向することに致しますが、幸といふてよいが、不幸といふて好いか、只今私の手許に本紙の讀者からいたゞいた十數通の御相談がありますので先づこ

### ノート

脂足の人は足袋の中に天花粉をまけば底が痛まぬ

信仰上の質問や、御相談がございましたら本社編輯局まで御投稿下さらば私の方へ御轉送下されることになつて居りますし又、直接に私宛に御郵送下されても

地相家相  
百定家相  
所象定澤野

平野澤野  
町堂澤野  
前澤野

結構です。矢張り本紙上でお答へ申上げます決して御本名には及びません。匿名でもよろしいのですが、返

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】みそ汁——もうこし

だんご、さつま芋

【晝】旨煮——たこ八ツ頭

【晚】白あへ——せんまい

油あげ、白あへ

信料を封入しての私信の回答だけは御容謝を願います住所は東京市神田區今川小路二の二私あてと参りますでは明日より筆を改めて御目にかゝります。



### 秋の虫

飯村 閑舟

優しき聲に ほだされて  
寄るとはなしにしのび行く  
秋の夕べの草むらに  
すすいすだぐすいすちよ  
涙！涙！にかきくれて

優しい聲の すいすちよ  
寄ればひそめし聲なるか  
やましからねば鳴けよ鳴け  
をぐらき胸に 打て涙  
せまり—せまりて倒るまで

玉屋洋品店  
平田町電話五五五番

十月廿七日丙寅四線大安定  
【白】新企業が新規發明の  
伴に利を得る幸日なり未申  
丑寅凶【二黒】我が希望に猛  
進して凶を醸す事あれば目  
下の男女の怪俄にも注意  
東西凶【三碧】金談や望事の  
爲に目上賢者と意見衝突を  
起し信を害する事あれば穩  
順にすべし戌亥と辰巳凶  
【四綠】目下の者より無理難  
題を申込まれ閉口の凶日な  
れば君子の穴居を思ふてさ  
げられ【五黄】慾心を起し  
公事訴訟に心配あれば賢者  
に順して和解が吉戌亥と辰  
巳凶【六白】縁談か金談の心  
配ある可し又友人より金  
の申込もあれば成可く御断  
りなさい東西凶【七赤】病氣  
怪俄紛失に注意して現状維  
持が吉未申丑寅凶【八白】我  
身屯底に陥り助けを呼ぶ事  
あれば水火の難に注意して  
南北凶【九紫】營業は繁昌の  
吉なるも公事の件と水火の  
難に注意して南北凶

美味で！  
評判の……  
イワキ  
サロシ  
電 352

服小倉服 賣出し

小學生 中學生 小學生  
中學生 特製A 特製B  
一等品 二等品 三等品  
一圓六十錢 一圓六十錢 一圓六十錢  
三圓五十錢 三圓五十錢 三圓五十錢

平町 正礼堂洋服店 電話

乞御期待 近日上映

非常時全日本國民に捧ぐ!! 感激篇來る  
オールト—キー史上初ての光榮に浴す  
賜天覽 台覽 文部省御推薦の光榮

楠公父子

早川 雪洲 澤村昌之弼主演  
池田富保監督 渡邊霞亭巨 作

各地切封 断縦 定豫 地各 映上 決各 定地

大津—大津座 内郷—警城劇場  
高秋—明座 平—聚樂館  
磯原—公開堂 四倉—四倉座  
湯本—湯本座 浪江—浪江座  
小名—磐城座 小高—小高座  
江名—江樂館

大森發聲映畫社超特作常磐の映畫殿堂警城劇場提供

喜多流謠曲と仕舞の  
お稽古をお勧め致します

平田町六九  
喜多流 仕舞 白土會

◇ 詳細は本會へ御問合せ下さい。

### 都市計画法

### 實施の調査

### 縣技師一行來平

都市計画法は來年五月十日から町村に於いても施行される事に改正されたので本縣では本郡下に於いて一萬以上の人口を有する平、内郷、湯本、小名濱、好間各町村の内より實施する懸案

### 經濟更生計劃

### 實現の具體協議

本郡下に於ける經濟更生指定村としての泉、大浦、入遠野、渡邊、飯野、神谷、四倉各町村の更生案實現の促進を圖る爲め本月廿八日午前九時より泉村役場に指定町村委員の研究會を開催する事になつたが協議事項左の如くである

### 郡内四十校の選手

### 千餘名が堂々入場

### 愈よ開かる、兒童競技

### 當日の役員氏名

既報石城郡小學校兒童陸上競技大會は來る二十九日午前九時より磐中グラウンドに於いて開き先づ出場四十校選手千餘名の入場式を舉行國歌合唱あり篠山會長の訓

### 産業實務の

### 向上進歩を圖る

本縣では濱三郡の各町村青年の産業實務に就いての相互的向上を計る爲め十二月六日午前九時より平第三小學校に濱三郡産業青年協議會を開催して體験發表や質

### 政府米の價格が

### 新米と大差なし

### 錦村が拂下申請を取消

錦村農會から申請した政府拂下米百六十俵は許可の指令に接したがその價格が一俵七圓二十四錢で近く出廻る新米の豫想値と大差ないので此程大急ぎに拂下げ申請を取消した

### 神宮競技

### 出場棄權

### 磐女の選手

磐女では明治神宮競技に出場權を獲得した庭球の戸來前田組及び走高跳山野邊松

### 人夫

### 益々沸底

平職業紹介所に夏井川改修事務所及び會津、相馬兩縣管道路工事場等よりいづれも大工五十名乃至百名の採用申込あるが郡下各町村の巨敷事業で労働者を相當に消化して居る外農繁期に入り殊に炭礦方面好況の爲め希望者が少ないと

### 關影寄附

### 方面委員に

平町一丁目油問屋關影商店主は昨廿五日平町方面委員助成會の事業資金として三十圓を町役場に寄附した

### 勸語發記念

各小學校では來る三十日の教育勸語發記念日に際し詔書奉讀後各校長の講演ある由

### 小野書記出張

平區裁判所監督書記小野榮一氏は本日双葉郡下各町村役場に於ける戸籍事務視察の爲め出張した

### 常設館たより

回平館 ウフアー映畫「間諜」日活時代劇大河内傳次郎、伊達里子、市川小文治、吉野朝子主演「三萬兩五十三次」解決篇 日活現代劇「未來花」終篇 回平館 新興現代劇 鈴木

勝彦主演「銃後の勝利」 新興時代劇尾上菊太郎主演「開化の與太者」嵐アロ作品嵐寛壽郎主演「右門捕物帳甘番手柄」

### 高級 日の出磨粉

如何なる御家庭にもなくてはならぬ必需品... 値段が安く而も極少量でも何でもキレイになり、お手をアラス事なく僅かの時間で早くキレイになる衛生と緊縮とを兼備せる、眞に時代の要求品であります是非御試用の程おすゝめ致します

特約店 芳賀商店 平白銀町 (大音堂向)

### 御華客様本位

「ひな鳥水たき」季節の松茸料理を始めました。何卒御尊來御試食の程御待ち申して居ります。

ひな鳥水たき 季節の松茸料理

◎料理は毎日献立を替えて調理致します。 ◎御宴会、出前は如何様にも御相談に應じます。

### 住吉屋本店

平町字紺屋町 電話一五九番

### 外科

門專光 X 科線

### 上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

# 官軍と平藩 戊申の役を 其儘の陣形

## 從來と趣きを異にした

### 警中と平商の聯合演習

警城中學校と平商業學校が來月十七、八の兩日聯合して發火演習を行ふ事は既記の如くであるが

#### 今度の演習は、戊申

戰役に於ける陣容其儘で互ひに鎗をけづる處に從來とは全然趣きの別な作戰上の妙味がある、即ち警中は「官軍」平商は「平藩」となり第一日は鹿島、小名濱、飯野方面を戦ひの巻と化し

#### 第二日は、愈よ平町を

中心に平窪方面に迄戦線を展開する、然も戊申當時と違つて兵器が進歩し、五挺

の輕機關銃と四百挺の小銃が火蓋を切り總人員二千餘名が入り亂れて

#### 大接戦を演ずる豫定

であるから戊申役に大敗した平藩が或ひは此演習に於いて奇勝を制せずとも限らず興味は豫想以上のものがあり力コブシを入れて居る警中大井川、平商駒場の兩配屬將校は先頃の本紙に掲載された戊申戦役に關する

#### 文献を參考資料とし

當時の實戦場を踏査して演習準備に着手するといふ

## 古河炭礦が

### 平町に電話線寄附

#### 水源地との通話に

平町役場水道部より好間村上野原浄水場を経て上好間字寺入地内水道取入口間一里半の電話線は從來古河炭礦私設電話線を利用し維持費として毎月十六圓宛を平町より古河炭礦に支拂つて居たが過般古河炭礦は平町との専用電話線が架設された爲め前記私設電話線は不用となつたのでその一切を平町に無條件で寄附する旨

## 商賣同志

### 計算から喧嘩

内郷村大字宮代六八居住層買入春山仙吉事季丘聖(三)

は去月廿日同僚である同村金坂箱崎與平(三)と屑物買出しの爲め茨城縣大津町木賃宿富田屋方に投宿の際計算上の事から喧嘩となり季

は突然足で箱崎の背部を蹴り全治一週間の打撲傷を負

## 優秀品揃へ

### 藤田校のバザー

來月三日から美々しき装ひ

平町藤田女學校では來月三、四、五の三日間製作品展覽會に毛糸編物、同織物各種手藝のバザーを開催するが出品點數は三千餘點の多きに達し何れも優秀品を出陳

生命は取止めた原因は主人から叱責されたのを苦にした爲めである

## 父兄を招待して

### 平第一校唱歌會

平第一小學校では來月二十四日午前九時より一般父兄を招待し同校講堂に於て全校児童の唱歌會を催し齊唱遊戯、獨唱、合唱等がある

辯論部員出發 既報來る二十九日の福島高商主催關東北北海道中等學校辯論大會に出場する平商の山家正君は二十八日午後十一時十八分にて中村教諭に引卒され出發すると

## 割腹自殺

### 主人に叱られ

平町二丁目建具屋柳屋事鈴木谷治方使用人植田町生れ瀨谷七郎(○)は昨廿五日午前九時頃大浦村字仁井し新舞子海岸料理店初音方裏松林で細工用の小刀で腹部を三寸程斬り付け苦悶中を發見されたが應急手當の結果

小川農産品評 小川村青年團及び同村補習學校生聯合の農産品評會は來月二日同村小學校で開催されるので審査長として神谷農事試験分場矢ヶ崎技手が出席する

## 好間衛生改選

### 好間

村衛生實行組合は來る廿九日午前九時より村役場に於いて秋季總會を開き役員の改選を行ふ

明日の天気

今夜は南西の風晴曇半し明日は北西の風晴

今晩の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) 童謡と唱歌 仙臺市荒町小學校児童(ピアノ併奏)
- 後六、二五 英語講座(三) 源馬次郎
- 後六、三〇 歌舞伎座より中繼
- 後七、三〇 長唄「鶴の榮」

第二校生見學

平第二小學校に於ける來春の卒業生は尋常科二百名、高等科百五十名であるが近日各係指導引卒の下に左記場所を見學すると

- 郵便局 常磐銀行 裁判所 稅務署 警察署 發電所 片倉製糸工場 難波製紙工場 小島薄硝子工場 四倉セメント會社

警中野外演習 警中三年生は明日好間村方面、四年生は二十八日平窪及び神谷村方面に於て各大井川庄司兩教官指揮の下に野外演習を行ふと

平商生の遠足 平商業學校では今二十六日草野村方面に全校生の校外遠足運動會を催した

學校衛生研究 平第一篠山、第二津田、第三赤津の三校長は本日午前九時より四倉小學校に開かれた本縣主催學校衛生視察研究會に出席の爲め各出張したが本縣より小野寺學校衛生技師及び水野縣視學が來郡

裁判所だより △湯本町大字湯本字上町二三無職川越長兵衛(五)は去る九月七日より十日迄の間警崎村湯ノ岳山林内に於いて保護鳥のヤマガラ七羽を捕獲し狩獵法違反として罰

回人を求める方 △農夫 三十迄 委細面談 (鹿島村某) △商店雜役 二十一才 委細面談(江名町某) △車力 三十以下 尋卒日給七十錢(平町某) △配達 十七迄 尋卒年五十圓(高久村某)

回職を求める方 △女中 二十才 平陽女出給料面談(平町某) △土工夫 二十三才 商業半退 給料面談(内郷村某) △女中 廿二才 高卒 給料面談(玉川村某) △事務員 二十四才 早大 専門部出 給料面談(平町某)

平職業紹介所報告

後六、二五 基礎佛語講座 (十三) 目黒三郎 陸軍特別大演習行幸記念特輯番組 後七、三〇 講演「大演習を顧みて」福井縣知事大達茂雄

後七、五〇 吹奏樂と軍歌 一、觀兵式行進曲 陸軍特別大演習統監部軍樂隊指揮伊藤隆一

後八、二〇 但詠「福井音頭」外數曲 唄一幸、好丸、小常外

後八、五〇 講談「錦旗翻へる越路の秋色」大島伯鶴

平職業紹介所報告

回人を求める方

回職を求める方

回職を求める方

回職を求める方



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演 山本英春畫

第七十四回 血に飢ゆる村正

覺え出した廓の味

仲「花魁そんな我儘をいふもんぢやアございませんよ。化物とは何の事で、萬屋の家では化物をお客には致しません」

と下心があるから言葉も荒くなりました。傍にゐた新造の船橋が

船「萬屋の内儀さん、そんな無理を云ふものではありません。花は先刻アノお化を見て夫から漸々今藥を服んで治まつた位、どうして一晩お化の傍に居て見なんし花魁は死んでしまふかも知れません」

仲「新造衆までそんな事を言ふならモウ頼みません。思ふから榮之丞さんをお客にして上げたぢやアありませんか、此廓で花魁の蟲だといはれて居る榮之丞さんをお客にする茶屋は一軒もありません、私共は物好きだからお客にして承はりて居る勘定が八十兩もありませんが其中には思ふお客も是非花魁をといつた時宜い返事をして貰はうと思へばこそお貸し申して置きました、お願ひ申すお客に出てゐる八橋は一言もなく頭を

定をしてお呉んなさい」船「夫は内儀さん無理ぢやアありませんか、花魁も間夫があるから勤めもする夫に此頃お客は落つて了ひ、懐が悪い所を知つて居ながら榮さんの勘定を催促をする」と云ふのは餘りぢやアあり



ませんか」仲「お前さんの方が餘りならず私の方も餘りに致しませぬ高が一晩お客を取るのになん茶屋を困らせるならモウ頼みません、サア勘定を頂きませう」八橋は一言もなく頭を

げて居る所へモ一宜からうと次の間から這入つて來た阿波太夫が八ッ橋とお仲の間へ入り

辭煙草の二三吸ものまして寝て居なましといつて夫ツきり往かねえツたつて眞逆喧嘩にはなりません、それをまるで断るから物に角が立つ、阿波太夫の云ふ通りウソと云つて花魁出た方が宜うございませぬ、又船橋もついて居てその位の事は氣を利かせなくつちやア花魁が困んなさる」と流石商賈柄で何方もつぶさす宜い鹽梅に話をしたので、八ッ橋も出る氣になり

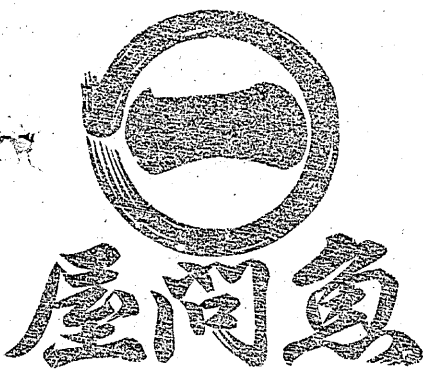
催促をするといふやうな事になるとお互にボロが出るやうぢやアございませんかそれよりはウンと云つて出たらどんな物でございませぬ四六見世と違つて引附に座敷へ出て床なつたら思やでも布團の傍へ巫つてお世

すはせると其儘逃げて往つて終ひました。夜が明けて萬屋から迎ひに來る丸善藤八阿波太夫藝者も前の晩に呼んだのが残らず揃つて居りまして又萬屋の内で大騒ぎを致しました、二日二晩騒いだので次郎左衛門の腹の中で幾ら掛つた事かと思つて居ると五十兩の金がまだ七八兩残つて居ると云ふ事に安いのだと餘まつた金は藝者太鼓持にやつて了ひました、けれども一ツ寝をした譯でなし花魁と云ふものは斯ういふ者かと思つて居る田舎堅氣、又二三日置いて參りましたソレ來たと直ぐに腕揃ひでございまして見て居る所へ月岡の源久、江戸節の絞吉も參りました。

科人婦。科外 院醫坂井

町田町平 番九五五話電

らか鹽 出賣節鯉

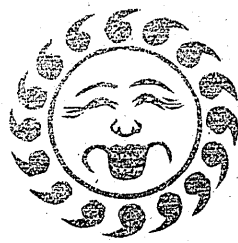


店理代平命生本日本最優最 榮盛賀志 (三一電)目丁四平

味覺の秋を樂しみ得る 香氣の高い松茸

料理を始めました

出前 迅速 錦水 電四五四



一本日質品 スーソ顔陽太

御存知ですか!

太陽顔ソースの

風味を!!!

是非御試下さい

平一丁目(電話三三三番)

小川屋本店 平各販賣店

